

## 5. 環境学習の推進

|  |  |
|--|--|
| (1) 学びの場づくり<br>(2) 自然とのふれあい事業の推進<br>(3) 飯田市のイメージづくり及び情報発信<br>(4) 市民参加の推進 | (リーディング事業)<br>5-1 e・c・o☆キャンペーンの展開<br>5-2 みんなで考え育てる いいだ環境物語 |
|--|--|

### 「特集」

「世界遺産フォーラム南アルプス in 飯田」の様子

#### ○世界遺産フォーラムを開催しました

長野、静岡、山梨の三県で構成する南アルプス世界自然遺産登録推進協議会で取り組む事業の一つとして、「世界遺産フォーラム南アルプス in 飯田」を平成 22 年 3 月 27 日飯田文化会館を会場に開催しました。ユネスコ前事務局長の松浦晃一郎氏による「世界遺産検証、今後のあり方を考える」と題した基調講演のほか、「世界遺産登録に向けて求められるもの」をテーマにして、五十嵐法政大学法学部教授、中村石見銀山資料館理事長、岩槻東京大学名誉教授、戸田自然環境研究センター主任研究員の 4 氏によるパネルディスカッションが行われ、三県の関係者をはじめ全国から多くの皆様が参加されました。また、これに合わせて開催した南アルプス総合学術検討委員会の委員による「南アルプスの生態系・生物多様性・自然景観と共生など」についての学術報告があり、改めて南アルプスの価値と魅力を認識する会議となりました。今後とも、南アルプスを世界自然遺産登録に向けた推進活動を行っていく必要があります。



5 環境学習の推進

(1) 学びの場づくり(各学校の取組)

| 学校名    | アルミ缶、牛乳パック等回収 | ごみ拾い登校・地区内ごみ拾い | 電気使用量、ごみ排出量、給食残滓等調査 | 花の栽培 | 水稲、野菜等栽培 | ペレットストーブ導入(~22) | 雨水利用タンク導入(~22) | 太陽光発電導入(~22) | 環境学習の取組み(22年度)  | 学校いいむす実施項目(22年度)   | 22年度 総合学習の取組み   | 21年度 環境に対する効果  |
|--------|---------------|----------------|---------------------|------|----------|-----------------|----------------|--------------|---|--|---|--|
| 丸山小学校  | ○             | ○              | ○                   | ○    | ○        |                 |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の自然体験学習</li> <li>・大平キャンプ(5年)にて、自然体験学習することを通して、環境保全の大切さを学ぶ。</li> <li>・風越山登山(6年)にて、地元の自然の雄大さを知ると共に自然を大切にすることを育む。</li> <li>・猿庫の泉について調べる学習(4年)を通して、自然を大切にすることを育む。</li> <li>○清掃指導</li> <li>・清掃を通じた、きれいにする、美しくする心を育てる。</li> <li>・リサイクル、ゴミ分別、減量大作戦の意識向上</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会環境ボランティア委員会によるアルミ缶、牛乳パック回収</li> <li>・トイレトーパーの芯のリサイクル</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○野菜や米の収穫祭に家庭や地域の方々を招待して地域社会との交流を深める</li> <li>・夕市グループの皆さんの指導で大豆栽培に取り組み、経過を地区内の店舗に展示した。地域の方からその感想を寄せていただいた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各活動を通して、物を大切にする心、地域の自然を大切にすることを、環境を美しく守る心の向上が見られました。</li> </ul>  |
| 追手町小学校 | 毎週火曜日朝        |                | ○                   | ○    | ○        | ○               |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ焼却場、最終処分場、リサイクル工場見学(4年生)</li> <li>・ごみの分別方法、ごみ処理方法について、下伊那のごみ処理についての学習(4年生)</li> <li>・PTA主催の資源回収(7月、10月)に児童も協力。</li> <li>・節電・節水のよびかけ。</li> <li>・野草園・学校園・学級園の整備と充実</li> <li>・野草園の草花の紹介</li> <li>・年間指導計画への位置づけ(生活、理科、社会等)</li> <li>・環境教育にかかわる実践例や資料の紹介</li> <li>・児童会の活動(アルミ缶・牛乳パック回収等)を通して、児童の環境への意識を高める。</li> <li>・町別子ども会の計画による町内清掃</li> <li>・掲示板を使つての児童への啓発</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ缶・牛乳パック回収</li> <li>・給食残滓の減量</li> <li>・トイレトーパーの有効利用</li> <li>・環境学習<br/>ポスター、標語作成、ゴミ削減、節電・節水</li> </ul> <p>(H21) 学校全体でエコカードによる取り組み</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の産業にかかわる学習活動</li> <li>・米作りや野菜作りを通し職の大切さ、食糧生産の大切さを実感できた</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全、食物の大切さ、資源の有効利用についての意識が高まりました。</li> <li>・感謝の気持ちとともに残滓が減っています。</li> <li>・節水、節電について意識をさらに高めたいです。</li> </ul>  |
| 浜井場小学校 | ○             | 月1回            | 毎日                  | ○    | ○        |                 |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年の総合学習における環境問題に関する学習(市長・国会議員・保護者等への啓発活動)及び伊那谷芸術文化祭における演劇発表</li> <li>・3年の環境学習における学校での電気・水道使用量調査と全校集会での発表</li> <li>○児童会活動</li> <li>・月1回のゴミ拾い登校、牛乳パック・アルミ缶等回収、花壇づくり、残滓調査</li> <li>○児童・職員・保護者が共同で年一回資源回収</li> <li>○各学年の実践</li> <li>1年・・・あさがおの栽培</li> <li>2年・・・学級園におけるサツマイモの栽培、一人一鉢の花の栽培</li> <li>3年・・・学校の電気・水道の点検をし、省エネの呼びかけを全校集会で行う</li> <li>4年・・・①ゴミの学習を通じて、クリーンセンターの見学なども行い、ゴミの行方を継続して追及していく。②校庭の周りにひまわりやケイトウを植える</li> <li>5年・・・ふるさと体験学習による自然の学習や農家民泊を通して農作物の栽培や環境への関心を高める。</li> <li>6年・・・地球の生態系について学ぶ中で、環境の大切さを理科の学習において学ぶ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用料削減</li> <li>・グリーン商品の購入</li> <li>・給食残滓0kgを目指す</li> <li>・資源回収</li> <li>・登校時のゴミ拾い(クリーン登校)</li> <li>・紙バック、アルミ缶回収</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○作物の収穫までの苦労や収穫した喜びの体感・・・収穫感謝祭の実施</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収では「資源を大切にするための資源回収」の意味が浸透しています。</li> <li>・ゴミ拾いの意識とともに、分別する力も付いてきている。昼の放送で人数を報告することで、一人ひとりの意識が高まっています。</li> <li>・アルミ缶や紙バックの回収により、資源のリサイクル・環境美化に対する意識が日常的に培われています。</li> <li>・リサイクルのお金で教材を購入することができ、成果が目に見える形になりました。</li> <li>・残滓量調査を毎日発表することで残滓を減らす意識化がされ、現在全校での残滓量が1kg未満となっています。</li> </ul> |

| 学校名    | アルミ缶、牛乳パック等回収 | ごみ拾い登校・地区内ごみ拾い | 電気使用量、ごみ排出量、給食残渣等調査 | 花の栽培 | 水稲、野菜等栽培 | ペレットストーブ導入(～22) | 雨水利用タンク導入(～22) | 太陽光発電導入(～22) | 環境学習の取組み(22年度)  | 学校いむす実施項目(22年度)  | 22年度 総合学習の取組み  | 21年度 環境に対する効果  |
|--------|---------------|----------------|---------------------|------|----------|-----------------|----------------|--------------|---|--|--|--|
| 座光寺小学校 | ○             |                | ○                   | ○    | ○        |                 |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イタチガ沢最終処分場、サンヒルズの見学。</li> <li>・麻績っ子キッズでの学校周辺のゴミ拾い(4年)</li> <li>・雨水を花の水やりに利用</li> <li>・遊びの森での春探し、秋探し</li> <li>・3年以上の児童に「地球にやさしくできたかなチェックシート」で自己評価を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用料削減</li> <li>・グリーン商品の購入</li> <li>・「地球に優しくできたかなチェックカード」での取り組み</li> <li>・資源回収</li> <li>・分別ゴミ箱の配置による分別意識の啓発</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学級学年ごとの総合学習<br/>季節探し・野菜栽培(1年生)<br/>家づくり・米づくり(2年生)<br/>地域探検・人形劇他(3年生)<br/>地域の宝探し他(4年生)<br/>米作り・英語活動他(5年生)<br/>菊づくり他(6年生)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会エコ委員会で資源回収を年2回行い、成果を上げることができました。</li> <li>・「地球に優しくできたかな」カードを用いて、学校生活を環境の視点から振り返る活動により、環境意識が定着してきています。</li> <li>・児童会行事「なかよし祭り」においてエコ委員会の催事で、ゴミ分別の催事で意識を高めることができました。</li> </ul>   |
| 松尾小学校  | 毎週金曜日         | 第2, 第4火曜日      | 毎日                  | ○    | ○        |                 | ○              |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学有林の自然体験学習</li> <li>・「ピオトープ」の利用・・・理科学習での利用、日常生活でせせらぎの環境について体験</li> <li>・理科園・栽培園の区画推進、花壇づくり等</li> <li>・年間指導計画に沿った環境教育の推進(各教科で環境教育によせたねらいを示し、指導に生かす)</li> <li>・児童会活動<br/>空き缶拾いやゴミ拾いなどの活動を通して環境問題について学ぶ<br/>空き缶拾い・資源回収・リサイクル活動・水質検査・公共施設の美化整備</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年毎に環境学習指導計画を作成し、指導</li> <li>・空き缶集め(リサイクル委員会)</li> <li>・ゴミの減量、空き教室の消灯、ストーブ火力のこまめな調整の取り組み</li> <li>・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用料削減</li> <li>・参観日に保護者へ報告し意見交換を行う</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域素材のヤギを教材化した生活科の学習</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルや分別回収の意識は高まっています。</li> <li>・活動を通じて、家庭や地域の関心も高まっています。</li> <li>・ペットボトルのキャップの回収により、より環境への意識が高まります。</li> </ul>   |
| 下久堅小学校 | ○             |                | ○                   | ○    | 5年生実施    | ○               |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年や児童会での取り組み、勤労生産的行事など</li> <li>①理科園、学級花壇、一人一人鉢などの花の栽培・観察(生活科や総合とも関連) <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科園・・・大豆(2年)ホウセンカ・ひまわり(3年)へちま(4年)ズッキーニ(5年)の栽培。</li> <li>・花壇・プランター・・・チューリップ、パンジー、サルビアなどを栽培。</li> <li>・一人一人鉢・・・あさがお(1年)ミニトマト(2年)ホウセンカ(3年)へちま(4年)いね(5年)じゃがいも(6年)の栽培。</li> </ul> </li> <li>②米作り、学級園での野菜栽培 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAの協力、収穫祭(5年)</li> <li>・サツマイモ、ポップコーン、きゅうり、すいかなど学級の計画により学級園で野菜作り。栽培作物の決定、植え付け準備、植え付け、手入れ・水やり収穫等、クラスでの取組。</li> </ul> </li> <li>③生き物の飼育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・モンシロチョウ(3年)、メダカ(4年)金魚・昆虫(各学年)で飼育する。</li> </ul> </li> <li>④玄関前の「しあわせの池分校」の取り組み(全校・児童会) <ul style="list-style-type: none"> <li>・池の観察(生き物の看板作り、児童玄関の水槽で紹介)</li> </ul> </li> <li>⑤社会科での取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの学習(4年)公害の学習(5年)公害の歴史(6年)</li> </ul> </li> <li>⑥図工科での取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題に関するポスターへの取り組み(4年)</li> </ul> </li> <li>⑦学友林での活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・春探し(1, 2年・3, 4月)、秋探し(1, 2年・10, 11月)</li> <li>・椎茸、なめこの駒打ち(3年・2月)学友林へ運ぶ(4年・4月)</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン商品の購入</li> <li>・自然体験により環境への関心を深める</li> <li>・ひさかた和紙<br/>米づくり<br/>学友林椎茸栽培<br/>緑のカーテン</li> <li>・ピオトープで多様な自然活動</li> <li>・児童会環境委員会<br/>自己評価カードにて家庭との連携<br/>電気、水道使用量をグラフ化し、省エネナビを 活用し全校へ節電・節水を呼びかける</li> <li>・児童会で給食習慣中に残渣を少なくする取り組みを行う</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ひさかた和紙」等の地域体験学習(和紙の材料栽培・紙すき)</li> <li>○農業・林業体験に関わる学習(米作り、きのこ栽培活動・そば打ち体験など)</li> <li>○自然環境活動(学校ピオトープ、水辺環境整備)</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年までは、いむす実行計画管理表の数値を職員の中で見直してきましたが、平成20年から環境委員会(4～6年)でも見直してみました。数値が大きかったり、単位が難しかったりで「4年生には無理かな」と思いましたが、グラフを見ながらいくつも気づきを持つことができました。そしてその気づきについて「なぜだろうとみんなが考えることによって生活を振り返ることができました。常々節電、節水など口にはしていますがこうして数値をみて立ち止まって考える機会はとても大切だと思いました。</li> <li>また委員長の提案で「自分の気づいたことを姉妹学級で話してくように」という課題が出されました。委員会としてもですが個人としても深まったと思います。</li> <li>小学校は1年～6年まで年齢の差が大きく、理解度も巾があります。高学年の読み取った内容を低学年に伝えることを通して環境に関して意識作りが進むことを期待します。特に6年生は模造紙を書いたり積極的に取り組んでくれました。これからの活動をリードする立場となり、6年生は特に環境に対する心が育ったと思います。</li> </ul> |

| 学校名    | アルミ缶、牛乳パック等回収 | ごみ拾い登校・地区内ごみ拾い | 電気使用量、ごみ排出量、給食残滓等調査 | 花の栽培 | 水稲、野菜等栽培 | ペレットストーブ導入(～22) | 雨水利用タンク導入(～22) | 太陽光発電導入(～22) | 環境学習の取組み(22年度)  | 学校いむす実施項目(22年度)   | 22年度 総合学習の取組み   | 21年度 環境に対する効果   |
|--------|---------------|----------------|---------------------|------|----------|-----------------|----------------|--------------|---|---|---|---|
| 下久堅小学校 |               |                |                     |      |          |                 |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦紙漣に関する活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トロアオイの栽培(1年)こうぞの刈り取り(2年)皮むき(全校)紙漣(全校)立体凧づくり、凧揚げ(全校)卒業証書の紙漣(6年)</li> <li>⑧親子PTA資源回収(H20.11月)</li> <li>⑨児童会による環境美化(ごみ拾い当番)、リサイクル活動、花や樹木の名前調べ</li> <li>⑩花いっぱい学校・・・花苗作り、公共施設(4月)や一人暮らしのお年寄り(12月～2月)へハンジーのプレゼント</li> <li>○授業の中で環境問題への動機付け <ul style="list-style-type: none"> <li>二酸化炭素を出さないエネルギーや生活の仕方ソーラークッキング(3年)、いろいろな発電(4年)、行事からの発展、紙漣(5年)、省エネ電気と電球(6年)</li> </ul> </li> <li>○親子で取り組む環境学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー実験教室ほか</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> |   |   |   |
| 上久堅小学校 | 毎月1回          | 毎月1回           | 毎月1回                | ○    | ○        | ○               |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アサガオ、野菜を育てる。</li> <li>・メダカ池でのメダカの飼育及び観察の継続</li> <li>・古代米作り</li> <li>・椎茸の駒打ち・栽培・収穫</li> <li>・学友林環境整備作業(下草刈り・ゴミ拾い)</li> <li>・学友林 植物ウォークラリー実施</li> <li>・節約週間</li> <li>・ゴミの分別やごみの行方について施設見学及び学習</li> <li>・上久堅地区の希少生物の調査・クロメダカ、ハチョウトンボ、ギフチョウ(4年)</li> <li>・ふるさと子ども夢学校(6年生)・・・千代小・千栄小とともに、農家民泊による農業体験、竹筒ご飯づくり、天竜川フライングなど</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科学習及び教科指導における環境教育</li> <li>・社会、理科、総合学習の時間での推進</li> <li>・特別活動における環境教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会、みどりの少年団、全校草取り</li> <li>・地域の自然を生かした教育</li> <li>・PTA/保護者とメダカ池や学友林等の環境整備作業を通じた環境教育</li> </ul> </li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○メダカ池の整備、活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・希少動植物の調査の実施(4年生)、低学年は自然に親しむ遊び場として活用できた</li> <li>○農園・花壇・学校田・学友林活動</li> <li>・地域の方々とともにする活動</li> <li>・高齢者クラブの方の指導により古代米作りに取り組んだ。またみどりの少年団活動でシイタケの栽培から販売活動を行った。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・メダカの観察やビオトープ活動や古代米栽培を通して、地域の豊かな自然に気づき、大切に守り続けていこうとする心情が養われました。</li> <li>・緑の少年団や学友林全校植樹を通じても環境教育の推進が行われています。</li> <li>・校外での様々な体験が環境教育として位置付けられ意識の高揚が図られました。</li> </ul>                                     |
| 千代小学校  | 毎月1週間         | 月1回            | 給食:毎日<br>ゴミ:週1回     | ○    | ○        | ○               |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりの少年団 <ul style="list-style-type: none"> <li>・善意の川の清掃(6月4月)</li> <li>・プール上地帯の荒廃地をビオトープとして整備。水性植物の移植や魚の飼育を2年計画で実施。</li> </ul> </li> <li>・よこね田んぼの田植えや稲刈り <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の自然と親しみ活用する活動</li> <li>○サバイバルキャンプ(7月)・竹の子掘り・松茸狩り・キノコ駒うちと収穫・農産物栽培と加工</li> <li>・ふるさと子ども夢学校による活動(3校)</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・よこね田んぼ稲作</li> <li>・地域の環境保全、善意の川清掃</li> <li>・地域の美化、アルミ缶、牛乳パックの回収</li> <li>・地域の環境保全、苗花の配布</li> <li>・学友林の整備、千代っこの池、千代っこの森整備</li> <li>・環境推進、エコロジーについて考える</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の方を講師としたクラブ活動や読み聞かせ活動・河川清掃</li> <li>○農林業体験と農産物加工体験</li> <li>○「千代っこの森」の手入れ(6年生)</li> <li>○花を育て地域へ贈る活動</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した環境保全活動により、子供たちの中に根付いています。また、地域の人たちのふれあいの温かさを感じ、ふるさとへの愛情や誇りが高まっています。</li> <li>・リサイクル週間、グリーンデーによる活動を通じて、児童会祭りでリサイクルをコンセプトにした祭りが行えました。</li> <li>・苗花の配布(1600本)を行う。地域内の花壇に10月まで美しい花が咲いていました。</li> </ul> |
| 千栄小学校  | ○             | ○              | ○                   | ○    | ○        | ○               | ○              |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源物回収(年1回、PTA中心に)</li> <li>・ごみの分別処理(通年)児童、職員共に</li> <li>・みどりの少年団活動(通年) <ul style="list-style-type: none"> <li>外部の事業に参加、地域にあるコスモス天文台で星見の会を行いました。</li> <li>炭・木酢液の無人販売</li> </ul> </li> <li>・学友林での遊び(通年)</li> <li>・農業体験 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方や市農業課の支援を受けて様々な野菜作。栽培の工夫を学び、出荷や販売も経験。</li> <li>りんごや梨づくり体験、稲作体験</li> </ul> </li> <li>・収穫祭</li> <li>・花を育て地域を花いっぱいにする取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>学校花壇づくり、地区花壇づくり、地区への苗の提供</li> </ul> </li> <li>・家庭生活の中での環境を考える学習</li> <li>・ふるさと夢学校(3校)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学友林での学習</li> <li>・地域ボランティア</li> <li>・登校時のゴミ拾い</li> <li>・河川清掃</li> <li>・環境浄化ポスターへの応募</li> <li>・学校花壇、地区花壇の制作</li> <li>・花の苗の配布</li> <li>・グリーン商品購入 <ul style="list-style-type: none"> <li>学年会計欄へグリーン商品欄を設け、取り組みを保護者へ周知</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全校で花苗作りから取り組み、地区花壇がコンクール入賞した。栽培、収穫した野菜を使い地域の方を講師に料理実習を行った。単なる農作業でなく、食育、環境についても考えた。</li> <li>○よこね田んぼでの稲作を通じ中学校区での交流を図った。地域の方々との交流も広がった。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の環境に対する意識は高く、各学年の活動も活発に行われています。地域の方からも子供たちの取り組みが評価されています。</li> <li>・炭焼き、花壇の準備、ペレットストーブを通じて、自分たちでできる環境問題への取り組みについて、積極的に考え、行動する姿が見えています。</li> </ul>   |

| 学校名   | アルミ缶、牛乳パック等回収 | ごみ拾い登校・地区内ごみ拾い | 電気使用量、ごみ排出量、給食残滓等調査 | 花の栽培 | 水稲、野菜等栽培 | ペレットストーブ導入(~22) | 雨水利用タンク導入(~22) | 太陽光発電導入(~22) | 環境学習の取組み(22年度)   | 学校いむす実施項目(22年度)  | 22年度 総合学習の取組み   | 21年度 環境に対する効果  |
|-------|---------------|----------------|---------------------|------|----------|-----------------|----------------|--------------|--|--|---|--|
| 龍江小学校 | 毎週火曜日         |                | ○                   | ○    | ○        | ○               |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ集積所の様子、最終処分場並びに焼却場の見学</li> <li>・1年から3年までの児童がふるさと発見学習。龍江地区内の歴史・産業・自然・文化財等を見学。</li> <li>・外部講師による学習<br/>東京大学教授による「海の資源」「海の汚染」の話<br/>シャープ・気象予報士の出前授業<br/>省エネセンター、家電の省エネの出前授業<br/>放射線利用振興協会からの講師派遣<br/>ペレットストーブについて</li> <li>・現地見学<br/>飯田建設事務所の砂防ダム・桐林クリーンセンター・梓川テブコ館・松川ダム・山林の間伐現場</li> <li>・ペレットストーブのペレット生産工場</li> <li>・総合的な学習の時間<br/>学校で使用する電力量、ガス代、水道料の調査<br/>新聞からエネルギー、環境に関する記事を切り抜き<br/>エコキッズ集会での発表<br/>全校集会での発表<br/>保護者や地域の方々へのお知らせ、啓発</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会でリサイクルについて意識を高める<br/>空き缶拾い、牛乳パックの回収</li> <li>・リサイクルやゴミの分別について外部講師による学習会</li> <li>・校内の樹木について関心を持たせる</li> <li>・校内の池や学校周辺の水生生物についてしらべ、水質についても関心を持たせる</li> <li>・地域の桜に関する活動</li> <li>・地区の環境パトロールや調査活動を行い、ポスター作成などを児童会で取り組む</li> <li>・栽培活動をととして安全な食の大切さを学ぶ</li> <li>・学校りんご園を活用する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○環境学習を中心とした取り組み</li> <li>・「環境は人をつくる」を目標にした栽培活動で、地域の方々に講師に継続した体験を通し農作業の大変さ、収穫の喜びを味わった。また、作物が生育していく過程で職の大切さも学習できた。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域の方々への自然保護に対する意識が高く、児童は日々の生活の中で自然保護について学ぶことができました。</li> <li>・アルミ缶回収・牛乳パック回収への意識が高く、主体的に全校児童が取り組むことができました。</li> <li>・栽培活動では、植え付けから除草などの活動を通じて、植物の生長について学ぶと共に、食の大切さ、汗して働く態度、食への感謝などを体験を通じて学ぶことができました。</li> <li>・全学年が環境について何らかの学びをしたことで、児童の環境に対する意識が更に高まってきました。</li> </ul> |
| 竜丘小学校 | 年3回           |                | 毎日                  | ○    | ○        |                 |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>「楽しもう みんな やさしい 省エネ実践」</li> <li>・学友林を使った学習、アサガオ・大豆・ミニトマトの栽培、カタツムリの飼育</li> <li>・ギフチョウに触れる</li> <li>・クリーン大作戦、桐林クリーンセンター、ゴミステーション等の見学</li> <li>・水辺の学校 天竜川探検と水環境</li> <li>・ジャガイモの栽培</li> <li>・残滓の堆肥を活用した花づくり</li> <li>・生き物と自然のつながりについての学習</li> <li>・4R活動<br/>児童による環境チェック活動(毎月・環境委員会)…省エネアンケートの実施(紙、水、電気、物についての4項目)</li> <li>いむす活動(電気、水道、燃やすゴミ、残滓、埋立ゴミ、灯油)</li> <li>・学校、地域、家庭の連携<br/>親子資源回収</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ教育の推進<br/>各学年、学級において</li> <li>・児童会による活動<br/>全校で環境チェックカードによる取り組み</li> <li>残滓の削減と堆肥化、記録・対策掲示</li> <li>アルミ缶の回収、紙回収</li> <li>ゴミ収集分別と分別の呼びかけ</li> <li>・家族、地域との連携による環境活動</li> <li>親子資源回収と環境整備作業</li> <li>親子環境チェック活動の呼びかけ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の自然に親しむ活動として学友林探検、川遊びを行い楽しく活動できた。</li> <li>○作物の栽培を通し土や種の不思議さに驚いた。また、土を耕す楽しさを実感した。</li> <li>○身の回りの植物を調べ、植物の性質を知り他の差を実感できた。</li> <li>○自分たちで育てた大豆を収穫し、お焼きやうどんをおいしく作る工夫を教えてもらい先人の智慧のすごさに気づいた。</li> <li>○ヤギの飼育を通しクラスがまとまり、命について学んだ。また、学友林活動から林業、職業について学ぶことができた。</li> <li>○米作り、和菓子作りを通し課題を解決しながら学びの対象と深く関わり、達成感を持てた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの学級も目標を達成できるように心がけ取り組んでいます。各学級に設置されている分別ボックスを更なる有効活用した環境教育を行いたいです。</li> <li>・児童会活動や教師の支援を受けて、意識が高まってきて、自分たちの生活を見返せるようになってきました。</li> <li>・職員自らも特に紙のリサイクル、ゴミの処理の仕方など姿で示せるようになってきました。</li> <li>・年度当初はやらされていると感じていた児童も、少しずつ物を大切にすることを理解し、主体的に動くようになっていきます。</li> </ul>           |
| 川路小学校 | ○             | 5月末～6月         | ○                   | ○    | ○        |                 |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かわじタイム」(クラブ活動)において、野菜の栽培・調理(3年～6年)</li> <li>・かわらんべ体験学習(1,2年)…小川に生きる生き物探し、押し花づくり・学友林での自然散策</li> <li>・川路の自然を知る中で、環境についての学習を深める。「メダカ・ホタルを探そう」「地区内の小河川の水生生物調べ」</li> <li>・花壇・学級園づくり</li> <li>・ヒメカンアオイの育成と分布調査、ギフチョウの調査や保護活動</li> <li>・アルミ缶集め、資源回収</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用料削減</li> <li>・グリーン商品の購入</li> <li>・児童会によるアルミ缶回収とゴミ拾い</li> <li>・学友林の活用</li> <li>・ささゆりの移植</li> <li>・自然散策</li> <li>・栽培活動</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「かわじタイム」の活動</li> <li>・「食と農」</li> <li>○各学級における学習</li> <li>・農作業を通じての体験活動</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学友林を使い参観日にてネイチャーゲームを親子で実施し、地区の自然環境に触れ学ぶ事ができました。</li> <li>・各学年、学校という枠から、家庭への環境意識の高まりにもつながりました。</li> </ul>   |

| 学校名    | アルミ缶、牛乳パック等回収 | ごみ拾い登校・地区内ごみ拾い | 電気使用量、ごみ排出量、給食残滓等調査 | 花の栽培 | 水稲、野菜等栽培 | ペレットストーブ導入(~22) | 雨水利用タンク導入(~22) | 太陽光発電導入(~22) | 環境学習の取組み(22年度)  | 学校いむす実施項目(22年度)   | 22年度 総合学習の取組み  | 21年度 環境に対する効果   |
|--------|---------------|----------------|---------------------|------|----------|-----------------|----------------|--------------|---|---|--|---|
| 三穂小学校  | 毎週火・金曜日       |                | ○                   | ○    | ○        |                 |                |              | ・みどりの少年団活動、間伐・枝打ち体験、バイオ燃料有用性体得、椎茸栽培。<br>・遠足や児童会活動で地域や学校周辺のゴミ拾いと分別実施。<br>・アルミ缶回収、地区内ゴミ拾い活動<br>・桐林クリーンセンター見学、妙琴浄水場見学(4年)<br>・学友林に隣接した竹林の竹を利用した竹工作(5年)<br>・学校周辺の田んぼに生息するホウネンエビの調査(6年)                  | ・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用量削減<br>・グリーン商品の購入<br>・環境学習の推進<br>環境ポスターの作成<br>アルミ缶回収<br>環境チェッカー応募<br>家庭科での環境保護学習<br>学友林の活用<br>花壇の世話<br>資源回収(PTA) |  | ・アルミ缶や古紙など廃棄物も資源物であることを体得し、ゴミの分別や再利用などの意識が高まりました。<br>・栽培活動を通して、無から有益なものが作り出されることを知り、太陽エネルギーの偉大さを感じながら、その活用にも関心を持ち始めました。<br>・栽培したものを寄贈することで感謝の心を表したり、喜ばれることに幸せを感じるなど福祉の心も芽生えてきました。 |
| 山本小学校  | ○             |                | ○                   | ○    | ○        | ○               | ○              |              | ・久米川に魚の放流<br>・社会見学にて、グリーンセンター、下水処理場の見学<br>・家庭でできるエコ活動調べ   | ・清掃委員会での清掃への取り組み<br>・栽培活動を通じた環境意識の高揚<br>残滓を利用した肥料<br>雨水利用<br>残滓を減らす取り組み<br>・アルミ缶、資源回収<br>・ゴミの分別                                   | ○花の木オープンスクール(人、物、自然、文化を体験的に学ぶ)<br>○花の木学習会<br>・山本小のシンボルである「花の木」についての学習、育苗、移植などの活動を通して、花の木に対する理解と保護に対する心情を培う。    | ・園芸委員会の栽培活動では子供たちがいきいきと活動できました。<br>・清掃の態度及びゴミの分別への子供たちの意識が高まりました。<br>・家庭環境の多様差から意識の浸透は難しい面はありますが、根気よく活動を続けていきたいです。<br>・児童の生活の中で分別に対する意識が高学年を中心に定着しています。                           |
| 伊賀良小学校 | 曜日を決めて実施      |                | ○                   | ○    | ○        |                 | ○              | ○            | ・総合的な学習の時間・生活科における環境学習<br>アップロードのりんご植栽帯の除草作業 4、5、6年(6月、8月、11月)<br>リンゴの収穫(3~6年)<br>学校林における学習 1、2年<br>米づくり5年<br>・児童会活動における環境学習<br>クリーンタイムの実施 20分休みにゴミを拾って教室へ戻る<br>雨水を使った花づくり                          | ・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用量削減<br>・グリーン商品の購入<br>・環境学習の推進<br>ゴミの減量<br>ごみ、アルミ缶拾い登校、クリーンタイム<br>資源回収(PTA)<br>学友林での自然体験学習<br>アップロードリンゴ並木の除草・収穫作業 | ○地域講師に学びながら米作りや野菜作り等の農業体験  | ・子どもが主体的に取り組む活動として、資源の有効活用あるいは環境保全の意識が高まっています。<br>・自分たちが住む地域の特色ある環境づくりに地域とともに取り組むことで、役立っているという意識が育っています。  |
| 鼎小学校   | 週1回           |                | 毎日                  | ○    | ○        | ○               | ○              | ○            | ・社会科学習を中心にして、適切なゴミの分別・処理について学習しています<br>・校内花壇、学年菜園での栽培活動<br>・うさぎ・チャボ等の飼育<br>・桐林クリーンセンターの見学(4年)<br>・米づくり(5年)<br>・社会科の単元で「環境問題」について学習(5年)<br>・児童会活動<br>アルミ缶等の回収、節電チェック、落ち葉拾い週間、残滓チェック、花壇作り・フラワーボックスの贈呈 | ・電気、水道、用紙使用量削減<br>・グリーン商品の購入<br>・環境学習の推進<br>アルミ缶、牛乳パック回収<br>ペットボトル蓋回収<br>4年生を中心とした再資源ゴミの分別についての学習<br>リサイクル行程を学ぶ<br>花壇委員会を中心とした花作り | ○学級、学年の子どもの段階に応じた豊かで創造的な学級活動<br>・綿花の栽培・学校の木を調べよう・エコプロジェクト・米作り 等  | ・集めたアルミ缶で購入した車椅子の贈呈、牛乳パック集めによるネパールの植林作業への参加によって、資源を集めた成果が明らかになり、一層リサイクルへの関心が高まりました。<br>・プランタの花を地域の公共施設に配布したことによって、地域の方々にたいへん感謝されました。また、6年生が花壇の絵を描くなど、花を育てる事への関心が高まりました。           |
| 上郷小学校  | ○             |                | ○                   | ○    | ○        |                 |                | ○            | ・学校内の花壇や花の管理を通じた環境美化<br>・学友林での諸活動を通して自然と環境について考える。<br>・ごみ・紙・ビニルの分別に関する指導。(全学年で4、5月に実施)<br>・グリーンセンターとリサイクル工場の社会見学を中心とした社会科学習。<br>・「キッズISO」の取り組み。   | ・リサイクル活動<br>アルミ缶、牛乳パックの回収<br>・花壇活動を通じた環境美化<br>・節電、資源ゴミの分別、節水  | ○地域での農業体験(りんご、米)<br>○花壇及びプランターによる花作りと地域周辺の美化(児童会)<br>○学友林での諸活動と環境学習<br>・花作りや学友林での活動をとおして、身近な環境問題について考える契機となった。 | ・全校の児童が収集活動への関心が高まるとともに、環境にも目がむくようになりました。<br>・総合的な活動では、多くの地域の方々の支援により活動ができ、環境についても考えることができました。  |

| 学校名    | アルミ缶、牛乳パック等回収 | ごみ拾い登校・地区内ごみ拾い | 電気使用量、ごみ排出量、給食残渣等調査 | 花の栽培 | 水稲、野菜等栽培 | ペレットストーブ導入(~22) | 雨水利用タンク導入(~22) | 太陽光発電導入(~22) | 環境学習の取組み(22年度)   | 学校いむす実施項目(22年度)   | 22年度 総合学習の取組み   | 21年度 環境に対する効果   |
|--------|---------------|----------------|---------------------|------|----------|-----------------|----------------|--------------|--|---|---|---|
| 上村小学校  |               | ○              |                     | ○    | ○        |                 |                |              | ・シイタケ、もち米、そばなどの栽培活動<br>・児童会主催の「ゴミ拾い集会」<br>・「ふるさと川づくり事業」。上村まちづくり委員会と協力し、アマゴやイワナの稚魚を放流する活動を行い、地域の自然環境や川を大切にすることを学ぶ。  | ・環境教育の推進<br>・ゴミ分別、ゴミ拾い集会<br>・地域素材の教材化による環境学習<br>・椎茸栽培<br>・そばの栽培、そば打ち<br>・伝統行事を通じた学習   | ○椎茸や野菜等の栽培<br>・地域の自然環境や産業を学ぶ  | ・身の回りからゴミを出さないための工夫や地域の美化に目を向けた活動が定着してきています。<br>・植物との関わりから、土壌や気候、肥料などの知識と関心が高まり、環境の与える影響についてそれぞれの体験から学び取れました。   |
| 和田小学校  | ○             |                |                     | ○    | ○        |                 |                |              | ・4・5年生は、みどりの少年団活動で、森林学習を通して森が果たす環境への役割を考えたり、遠山川のゴミ拾いを行いました。<br>・4年生は、桐林クリーンセンターを見学し、各種ごみのリサイクルについて調べました。<br>・6年生は、遠山川の水質検査や水生昆虫、水辺の植物の調査を通して環境問題について学習し環境宣言を発信しました。<br>・ボランティアに取り組む委員会を中心にゴミ拾いを行い、ゴミの減量化の意識を高めました。<br><br>・お茶の栽培、茶摘み、販売体験<br>・作物づくり(1~4年)、米づくり(5年)<br>・炭焼き活動(6年) | ・グリーン商品の購入<br>・環境学習の推進<br>・花壇づくり、お茶摘み<br>・アルミ缶等の回収  | ○全校茶摘みを実施し、手つみによる達成感を味わった。  | ・地域に目を向けられることから身近な環境問題に取り組んでいこうとする姿勢が見られました。<br>・身近な河川のごみを拾ったりリサイクルの現状を知ること、地域の環境美化に対する関心を高めることができました。<br>・南信濃地域における茶畑の大切さ、茶畑を育む自然豊かな環境の価値を感じています。<br>・アルミ缶回収によって車いすを購入し寄附することができました。具体的な成果によって活動の励みとなりました。 |
| 飯田東中学校 | 毎週水曜日         | 毎週水曜日          | ○                   | ○    | ○        |                 | ○              |              | ・りんご並木育成<br>・町内清掃(毎月第1土曜日7:00~)<br>・リサイクル活動、グリーン登校<br>・学生会、美化委員会、環境ボランティア委員会の活動を通じた身の回りの環境を良くしていこうとする活動<br>・各教科での環境教育の関連づけ   | ・りんご並木の活動を通して、自分たちの手で地域社会の環境をつくり守る<br>・町内清掃を通じた身近な環境美化<br>・アルミ缶、牛乳パック回収<br>・資源回収<br>・清掃活動を通じた環境教育                                 | 地域の方々や保護者の皆様と生徒が共に汗で「環境文化都市」の原点である町内清掃やりんご並木を育てる活動(全校)                                      | りんご並木育成活動<br>・郷土のシンボルであるりんご並木の育成活動を通して、郷土の豊かな自然や先輩方の思いを愛する心情を培うことができました。<br><br>アルミ缶、牛乳パック回収、ゴミ拾い、町内清掃<br>・身のまわりの環境について考え、より良くしていこうとする態度の育成ができました。  |
| 飯田西中学校 | ○             | ○              | ○                   |      |          |                 |                |              | ・各教科の授業をとおして環境教育について理解を深める。<br>・生徒会活動として、5月にゴミ0クラスマッチを実施。登校時に通学路のゴミ拾い活動。また、無言清掃・気づき清掃など<br>・地区内の公園清掃<br>・5月に、全校生徒参加の風越山探鳥会を45年間、伝統的に行っている。<br>・3学年の総合的な学習の時間では、風越山の林業についての学習。7月には、実際に現地へ行き、間伐体験。<br>・間伐体験の発展活動として、かざこし山登山道の整備や、白山社の清掃・整備など、地域での奉仕活動。<br>・農業体験学習                  | ・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用量削減<br>・グリーン商品の購入<br>・環境学習の推進<br>・リサイクルの方法、分別について学ぶ<br>・資源回収<br>・ゴミゼロクラスマッチ<br>・大平街道クリーンキャンペーン<br>・探鳥会、農業体験、林業体験 | ○「探鳥会」にかかわる活動<br>・探鳥会の実施、自然保護活動<br>○ 農業体験にかかわる活動<br>・宿泊農業体験<br>○ 風越山を守る地域との連携<br>・間伐体験、林道整備 | ・地域のゴミ拾いをする中で、地域をきれいにしていこうとする意識が高まりました。また、西中清掃への取り組みも昨年に比べ良くなってきています。<br>・鳥を観察しながら自然に親しむことで、鳥の住む環境を保つことの大切さに気づくことができました。<br>・地域の風越山について学習を進めることで、地元の風越山を身近に感じ、守ろうとする心が育ってきています。                             |
| 緑ヶ丘中学校 | ○             | ○              | ○                   | ○    |          |                 | ○              |              | ・生徒会によるアルミ缶等回収、ゴミ拾い登校。<br>・今年度は強化期間を増やし、全校の意識の高揚と参加率が高まるように工夫している。<br>・地域との連携<br>・天竜川・毛賀沢川の河川清掃、各地区天竜川整備作業への中学生の参加を予定。   | ・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用量削減<br>・グリーン商品の購入<br>・環境学習の推進<br>・リサイクルの方法、分別について学ぶ<br>・資源回収   |   | ・日頃の生活の中で環境教育をしていくために「環境学習の記録」を記入させ、生活と共に見直し、改善策を話し合うことで、環境について関心を高める取り組みをしました。その結果、生徒・職員が以前より以上に比べ、節電やゴミの分別などができるようになってきました。<br>・電気使用量等の掲示を行い、職員や生徒の意識高揚を行いました。他校の取り組みなど掲示し更に関心を高めたいです。                    |

| 学校名    | アルミ缶、牛乳パック等回収 | ごみ拾い登校・地区内ごみ拾い | 電気使用量、ごみ排出量、給食残滓等調査 | 花の栽培 | 水稲、野菜等栽培 | ペレットストーブ導入(~22) | 雨水利用タンク導入(~22) | 太陽光発電導入(~22) | 環境学習の取組み(22年度)   | 学校いむす実施項目(22年度)  | 22年度 総合学習の取組み  | 21年度 環境に対する効果   |
|--------|---------------|----------------|---------------------|------|----------|-----------------|----------------|--------------|--|--|--|---|
| 竜東中学校  | 月2回           | 毎週木曜日          | ○                   | ○    |          | ○               | ○              |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃・・・「きれいにする」だけでなく、「汚さない」「無駄にしない」「分別する」の指導を進める。</li> <li>・LOE(Love On the Earth)活動・・・月に2日連続で日を決め、ゴミ拾い登校、アルミ缶回収。</li> <li>・エコキャップ運動</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用量削減</li> <li>・グリーン商品の購入</li> <li>・地域の環境問題について学ぶ</li> <li>・LOE活動、アルミ缶回収</li> </ul>  | <p>クラブプロジェクトの中で、水に関する環境問題について学習。<br/>発表は地域の方にも見ていただく。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会を中心にLOE活動は成果をあげています。</li> <li>・花壇作りも成果を上げており、地域花壇まで活動を広げています。</li> </ul>   |
| 竜峡中学校  | ○             | 月1回            | ○                   | ○    | ○        |                 |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ缶、牛乳パック回収<br/>具体的目標を立てて実施。(アルミ缶:1人あたり300個、牛乳パック:1人あたり200枚)</li> <li>・天竜峡公園、桜街道、小笠原書院の全校生徒による地区清掃。(7月実施)</li> <li>・太陽光発電のチェック、データの集積。</li> <li>・授業を通して環境問題の科学的認識を深める</li> <li>・清掃登校(毎月月末)</li> <li>・農業体験</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用量削減</li> <li>・グリーン商品の購入</li> <li>・環境教育の推進</li> <li>・アルミ缶、牛乳パックの回収</li> <li>・資源回収(生徒会・PTA共催)</li> </ul>   | <p>○「花いっぱい運動」<br/>・地区内の施設に育苗した花の鉢を設置し管理することで、地域の方と親しくなり環境整備につながった。<br/>○ 農業体験(1学年)<br/>農業体験から、農業に携わる方々の息吹や思いに触れ、生きることと作物を作ることの尊さを体感した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ缶、牛乳パックは回収日を月2回設け、生徒会活動として充実しています。</li> <li>・地区清掃では、自分の地区をきれいにするとともに、大人になっても誇れる所があるという意識を高めています。</li> </ul>  |
| 旭ヶ丘中学校 | ○             | ○              | ○                   | ○    | ○        |                 | ○              |              | <p>簡易池でのメダカの飼育、資源回収により得た資金を各活動に活用</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用量削減</li> <li>・グリーン商品の購入</li> <li>・環境教育の推進</li> <li>・資源リサイクル(収集ウイーク)</li> <li>・福利委員会を中心にポスター等の作成を通じた啓発活動</li> </ul>   | <p>○農業体験・林業体験「地域を知る」<br/>・農業体験を通し、野菜を作ることで大変さを実感した。食べ物を残さず食べるという意識が生まれた。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・節電節水、校内美化について委員会を中心に生徒間へ根付いてきています。</li> <li>・資源回収では地域の資源を有効に活用するとともに、リサイクルの意識を育てる大切な場になっています。</li> <li>・生徒の環境への配慮や願いが反映しています。</li> </ul>  |
| 鼎中学校   |               | 毎週木曜日          | ○                   | ○    |          |                 |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇づくり</li> <li>・(H21)社会科学習での実践・・・日本とよく似た国であるドイツについて学習し、ドイツの環境問題について考えることを通して、日本と他の国の環境問題への取り組みの違いについて学んだ。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用量削減</li> <li>・グリーン商品の購入</li> <li>・環境教育の推進</li> <li>・アルミ缶、牛乳パックの回収</li> <li>・資源回収(校友会)</li> <li>・生ゴミ処理</li> <li>・週番活動</li> </ul>  | <p>○郷土愛を育むための活動<br/>・地域内の環境美化のための奉仕活動<br/>○ 環境美化活動<br/>・花作り、地域への花の提供</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収では呼びかけを強化することで生徒全員の意識の高揚が図られました。</li> </ul>   |
| 高陵中学校  |               | 毎週月曜日          | ○                   | ○    |          |                 | ○              |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方にも協力をお願いし、専門のかごを校門わきに用意し随時回収も行っています。</li> <li>・高陵の時間(総合的な学習の時間)で「道路のゴミ拾い、神社・駅の清掃」「かわらんべでの学習等を位置づけ、その取り組みを高陵祭や参観日で発表。</li> <li>・給食残滓調査・・・過去の月別残滓量と比較し、担任や養護教諭の給食指導と栄養士による献立の工夫等により、残滓量を減らす努力を行う。</li> <li>・環境学習の時間を各学年6時間位置づける。3年生の自然・環境コースの生徒は、「飯田市環境課の方による講演及び水質調査体験」「地域の清掃活動」「環境ポスター制作」などを行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油、電気、水道、用紙、ゴミ使用量削減</li> <li>・グリーン商品の購入</li> <li>・環境教育の推進</li> <li>・総合学習の時間における環境教育の充実</li> <li>・生ゴミ、残滓の削減、堆肥化</li> <li>・アルミ缶、牛乳パックの回収</li> <li>・資源回収(PTA)</li> <li>・全校ガイダンスにおける生徒・保護者へ説明</li> </ul> | <p>・各学年6時間を位置付ける</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週月曜日のアルミ缶・牛乳パック回収日には、学年の参加率と目標を達成したクラスとを昼の放送で発表し、励みにしています。また、参加率が高まるにつれて、リサイクルの必要性や大切さについての意識が高まってきています。</li> <li>・今まで、あまり関心を持っていなかった地域の環境に目が向くようになりました。作業等自主的に取り組み、きれいになったときには、充実感・満足感を感じる生徒が多く見られました。また、地域への貢献等を通して、できることから少しずつ取り組むことが環境の改善には不可欠であるという点に目を向ける生徒が増えてきています。</li> <li>・給食の残滓については、過去のデータと比較すると、この3年間、非常に量が減ってきました。</li> </ul> |

| 学 校 名 | アルミ缶、牛乳パック等回収 | ごみ拾い登校・地区内ごみ拾い | 電気使用量、ごみ排出量、給食残滓等調査 | 花の栽培 | 水稲、野菜等栽培 | ペレットストーブ導入(~22) | 雨水利用タンク導入(~22) | 太陽光発電導入(~22) | 環境学習の取組み(22年度)  | 学校いいむす実施項目(22年度)   | 22年度 総合学習の取組み   | 21年度 環境に対する効果   |
|-------|---------------|----------------|---------------------|------|----------|-----------------|----------------|--------------|---|--|---|---|
| 遠山中学校 | ○             |                |                     | ○    |          |                 |                |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に林務課作成の資料を使って校内学習会。</li> <li>・学友林の間伐作業と木工作業(巣箱づくり)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン商品の購入</li> <li>・学友林学習やリサイクル活動を通して、環境保全・リサイクルへの関心を高める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○郷土愛を育む学習</li> <li>・御射山祭り・霜月祭り・資源回収・学友林学習・茶摘み体験</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ缶回収について地域の理解・協力が定着し、アルミ缶のリサイクルが習慣化してきています。</li> <li>・ビン回収では、生徒のリサイクル(資源の有効利用)の意識が高まりました。</li> <li>・遠山郷の植物・森林について学び、かつどうの成果を報告する場も新設したことにより良い活動ができました。</li> <li>・花壇作りは、学校環境作りという観点と地域への貢献という観点から今後も続けていきたいと思っています。</li> </ul> |

## 5. 環境学習の推進

### (1) 学びの場づくり

| 施策の名称        | 実施事項   | 環境に対する効果   | 実施主体                                 | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名)  |
|--------------|--|--|--------------------------------------|---------------|------------------|
| 桐林クリーンセンター見学 | 5/22(金)橋北公民館主催「北斗のまち・さわやか講座」において、飯田市最終処分場グリーンバレー千代を見学しました。<br>当日は、受講者及びスタッフ含め21名が現地見学し、職員から施設について説明を受けました。               | 埋立ごみの処分場の見学を通じてごみに関する関心を高めてもらい、少しでもごみを減らそうとする意識を高めます。                              | 橋北公民館                                |               |                  |
| 麻績の里の桜ガイド    | 小学生を対象にしてガイドを募集し、事前学習会を行い、麻績の里舞台桜を観に来た方へ説明・案内を行いました。   | 子ども達は地域の貴重な資源を学ぶことができ、桜を通して地域の自然環境について学習するとともに、観桜客へガイドすることにより、地域に対する誇りを持つことができました。 | 座光寺公民館                               |               |                  |
| 農業体験事業       | 小学生を対象として、遊休農地における野菜作りを実施しました。苗植えから収穫まで自分達で行い、収穫した野菜の一部は子どもまつりの材料にしたり、地元保育園の給食用に提供しました。                                  | 農業体験を通し、農業の大切さを学ぶことで、食と農に対する関心を高めることができます。   | 座光寺地域自治会<br>公民館委員会                   |               |                  |
| ひさかた和紙の里づくり  | 和紙の原料となる楮とトロロアオイを地域で栽培し、伝統文化であるひさかた和紙(手漉き和紙)の保存継承を行なっています。地元の小学生も原料の栽培・収穫作業や紙漉き体験を行い伝統文化を体感しています。また、体験教育旅行の受け入れも行なっています。 | 小学生を始めとする地区住民が自然環境や物を大切にす意識の向上。  | 下久堅地区まちづくり委員会<br>公民館委員会<br>ひさかた和紙保存会 | なし            |                  |
| 杵原広場事業       | 杵原学校を拠点とし、保育園・小学校・大学・一般の方々々と農業体験、古道散策、子供教室などを年間を通して実施しています。<br>地域の自然、文化、歴史を学ぶ山本学講座の開催。                                   | 自然とのふれあいの中で環境に対する意識を向上しています。   | 山本地域づくり委員会<br>杵原学校応援団                | 700,000       | 山本地域づくり委員会<br>会計 |
| 森林講座         | 第1回 6/24 「身近な自然の不思議を解く楽しさ・おもしろさ」<br>第2回 7/26 「流木を使った工作教室」<br>第3回 9/6 「自然科学の工作体験」<br>第4回 9/17 「自然とのふれあい きのこについての学習会」      | 自然との触れ合いの促進と森林のもたらすめぐみの学習  | 伊賀良学習交流センター                          |               |                  |

| 施策の名称               | 実施事項  | 環境に対する効果  | 実施主体                   | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名) |
|---------------------|---|---|------------------------|---------------|-----------------|
| 伊賀良地区<br>環境教育       | 環境委員会<br>・ 5 / 30、11 / 14 アップルロードポイ捨てごみ拾い調査。地区内のアップルロード沿いのごみを拾い実態把握。地区内にのぼり旗を掲げ通行する人達へも啓発<br>・ 6 / 5 ごみ集積所班長研修会を開催。ごみの分別や地区のごみの出し方の状況等を市環境課を講師に依頼し分別等について再確認(参加者161名)<br>・ 7 / 17 ごみ減量・省エネ啓発 マイバッグ利用推進運動。地区内の大型店舗にて来店者にマイバッグ利用を呼びかけメッセージを配布(マイバッグ利用率79.4%)<br>・ 10 / 18 一般廃棄物処理施設「ささゆりクリーンパーク」へ視察研修。廃棄物ゼロの循環型処理を目指し、推進している施設を見学(参加者22名) | ごみ分別の実態・省エネ方法を具体的に知ることにより、環境問題に対する意識の上昇に繋がります。また、自分たちが実践している活動を地域の住民にも拡大していき、みんなで環境問題を考えようとしています。 | 伊賀良まちづくり<br>協議会        |               |                 |
| 伊賀良地区<br>環境教育       | 西部山麓フェスティバル(遊歩道散策)<br>親子で西部山麓の遊歩道を散策してもらい、伊賀良の自然を再確認してもらおうと共に、親子のふれあいの場としてもらうために10月4日に伊賀良大瀬木梅ヶ久保地区で開催しました。小学生の親子130人(参加者全体では500人)の参加がありました。   | 子ども達が自然とふれあう場を提供し、自然に親しむきっかけを持ってもらうことで、最終的には伊賀良という地区に愛着を抱いてもらうことにつながります。                          | 西部山麓活用推進<br>協議会(伊賀良)   |               |                 |
| かさまつ大<br>学環境講座      | 気象・温暖化などの人為的自然現象と地震などから環境問題について学習会を実施しました。  | 参加した方々及びその家族への意識啓発  | 伊賀良公民館                 |               |                 |
| 間伐材を使用した親子木工体験教室の開催 | 4 / 25野底山森林公園まつりで、間伐材を使用した親子木工体験教室を実施しました。  | 森林保全に対する理解を深め、地球温暖化防止に対する意識を向上させることにより、家庭からの二酸化炭素の排出を抑制することに繋がります。                                | 野底山森林公園実行委員会(上郷野底山財産区) | 37,000        |                 |
| 新規採用職員研修            | 飯田市職員として採用後約3か月を経過し、ある程度職務の状況を把握できた時期に、市内各分野の施設等を見学しました。環境関連では、桐林環境産業公園、飯田市最終処分場、飯田市堆肥センター、桐林クリーンセンター等を視察しました。  | 市政全般への関心を高めるとともに、視察をとおして環境文化都市に対する関心を高めることができます。  | 人事課                    | なし            |                 |

| 施策の名称                  | 実施事項   | 環境に対する効果  | 実施主体                               | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名) |
|------------------------|--|---|------------------------------------|---------------|-----------------|
| 世界遺産<br>フォーラム<br>開催    | 平成22年3月には、世界遺産フォーラム南アルプスin飯田を開催し、南アルプスの世界自然遺産登録に向けての講演会や学術的な見地からの南アルプスに関する報告会を開催し、約350人が聴講しました。        | 地域の自然、文化について学び、その価値を再認識するとともに、自然環境の保全の必要性についても考えました。                      | 南アルプス世界自然遺産登録推進協議会<br>環境課          | なし            |                 |
| 自治会・衛生組合などの連携による苦情への対応 | 複雑多岐にわたる公害苦情が発生するため、各地区まちづくり委員会、各地区環境衛生担当委員会等と連携して対応を行うとともに、環境保全に関する説明会等の開催によって普及啓発活動を行いました。           | 苦情の解決に向けた効果を発揮しています。  | 各地区まちづくり委員会<br>各地区環境衛生担当委員会<br>環境課 | なし            |                 |
| 地域ぐるみ環境ISO研究会の活動       | 31の事業所により構成する研究会活動を実施しています。飯田・下伊那地域で独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の普及を通じて、地域全体の環境改善活動のレベルアップに取り組む活動をしています。 | 研究会活動を通じて地域の事業所が連携し、環境改善への取組みが展開されています。                                   | 地域ぐるみ環境ISO研究会<br>地球温暖化対策課          | なし            |                 |
| ISO14001相互内部監査実施       | 飯田市役所などのISO14001相互内部監査に参加しました。   | 環境マネジメントシステムの仕組みを学習する機会につながりました。  | 地域ぐるみ環境ISO研究会<br>地球温暖化対策課          | なし            |                 |
| 環境教育モデル事業              | ・環境教育の取組（全市の小中学校）<br><br>「第3章 5.環境学習の推進（1）学びの場づくり（各学校の取組）」参照   | 資源を大切にする心、地域の自然を大切にする意識高揚が図られました。地域の方との連携した県境保全活動により、ふるさとへの愛情や誇りが高まっています。 | 教育委員会                              |               |                 |

(2) 自然とのふれあい事業の推進

| 施策の名称             | 実施事項   | 環境に対する効果   | 実施主体                 | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名)                        |
|-------------------|--|--|----------------------|---------------|--|
| 天竜川探検隊<br>(石シリーズ) | 9/27(日)橋北公民館育成委員会主催により、天竜川河原にある様々な石を採取することから、飯田下伊那の自然に興味を持ってもらう機会として実施しました。<br>当日は、親子及びスタッフ含め33名が参加<br>また、講師に湯沢正農夫先生(浜井場小学校校長)をお招きしお話をいただきました。 | 参加者の内、特に子どもは河原にある石に大変興味を持って採取していました。また、採取後は親子で昼食を食べ、触れ合いの機会としても有効な企画でした。 | 橋北公民館                |               |  |
| 万古溪谷沢川渉りツアー       | 万古溪谷は大変淵が深く、切り立った岩が入り組み非常に危険な溪谷です。この大自然を体感する機会の提供を目的に開催しています。  | 大自然の醍醐味を味わい、その大切さを実感できます。  | 千代公民館                | 77,793        | 10-05-04<br>(公民館事業費)<br>千代地区まちづくり委員会会計 |
| 千代ウォーキングマップの活用    | 千代地区内を6コースに分けて、各地区ゆかりの場所を設定してあります。このマップをもとに改めて千代のすばらしさ、自然の豊かさ、文化的な価値の高さを見つめ直す機会として活用していただくことを目的としています。   | 歩くことで自然を感じ、ふるさと千代のよいところを再発見できます。   | 千代公民館                | なし            | 千代地区まちづくり委員会会計                         |
| ハナノキウォーキング        | 公民館主催で11月に、ハナノキの自生地を観賞していただくために開催しました。ハナノキ友の会の方に講師をお願いし、延べ14名の参加がありました。  | 地区内の植生を知り、豊かな自然環境を実感してもらいました。  | 山本公民館                | 8,000         | 10-05-04(公民館事業費)                       |
| *魚の住める川にする事業      | 7月に山本小学校及び下伊那漁業協同組合との共催で、久米川の清掃とアマゴの稚魚3,000匹の放流を行いました。71名の参加者がありました。   | 河川環境の保全と、小学生に河川愛護の意識を持ってもらうことができました。                                     | 山本地域づくり委員会<br>環境緑化部会 | 20,000        | 山本地域づくり委員会会計                           |
| 食農体験              | 種を蒔き・苗を植え・草を取り・水やり・収穫などの作業を通じて、野菜を育てる体験と収穫して調理し、食べる喜びを味わうことで、産地消費・食の安全などはじめとした学習の機会としました。<br>年間12回 / 一回平均の参加者15組30人                            | 遊休農地の活用と、親子での食農体験により、環境学習・食育の意識醸成へ繋がります。                                 | 伊賀良公民館               |               |  |

| 施策の名称         | 実施事項  | 環境に対する効果   | 実施主体                      | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名)            |
|---------------|---|--|---------------------------|---------------|----------------------------|
| 伊賀良で一番高い山へ登ろう | 環境学習と地域学習を兼ねて、10月25日に企画。身近な自然を知り、緑の大切さ・山の役割などを考える機会とするとともに、財産区役員さんと連携した「水源など生活に欠かすことができない山について学ぶ」意図を持って計画しました。  | 環境について考える機会となっており、環境保護意識の醸成につながっています。  | 伊賀良公民館                    |               |                            |
| 水生生物観察会       | 7/4(土)地区内の大島河原キャンプ場で、自然環境を身近に感じられる機会として、図書分館のおたのしみ会と併せて水生生物観察会を実施。「かわらんべ」などでも指導している久保田憲昭さんに講師をお願いし、採集した生物の種類と個体数によって川の水質を調べ、この地区の自然環境の豊かさを確認することができました。   | 普段子ども向け行事の開催場所は、屋内で公民館や小学校・図書分館の建物がある上町地区が中心となることが多いです。自然豊かな地区内の各地に出向いて屋外で実際に自然とふれあう機会を通じて、子どもたちが自然環境への関心を高めていくことを期待します。 | 上村公民館<br>上村図書分館           | 6,942         | 10-05-04<br>(公民館事業費)       |
| 間伐材を利用した工作の紹介 | 「生活と環境まつり」で、間伐材を活用したクラフト細工コーナーを開設、多くの親子が参加しました。   | 参加した親や子にとっては、自然とのふれあいや環境についての意識づくりの機会となりました。   | 地域ぐるみ環境ISO研究会<br>地球温暖化対策課 | なし            |                            |
| ワーキングホリデーの実施  | 農業や農村に関心を持ち真剣に農業をやりたい方や、就農を考えているが具体的な方法や手段がわからない方々と、繁忙期の手助けや後継者が欲しい農家を結び、お互いの足りないところを補う「パートナーシップ事業」です。<br>平成21年度は、春2回、秋2回、通年で468人が延べ2,114日飯田市を訪れました。  | 農山村の良さの認識度アップにつながります。新規就農者の獲得につながります。  | 農業課                       | 748,510       | 06-01-03<br>(新規就農促進事業費)    |
| 桜守の旅          | 飯田下伊那地方は、樹齢300年以上の老桜や樹形の美しい名桜が数多く残っています。桜守の旅とは、この地方の桜を愛する人々が「すばらしい桜たちを未来に向けて子々孫々の代にも残していきたい」との願いを込めて、その物語や桜を愛する仲間として心がけることなどを訪れる人々に伝えていこうとするものです。<br>名桜巡りチャレンジ企画「あなたも桜名人」において、名桜40桜を鑑賞した人を「名人」として認定しています。 | 市民が地元の資源に気づく良い機会となります。また、老桜の保存活動も始まりました。   | 観光課                       | 1,327,350     | 07-01-04<br>(エコツーリズム推進事業費) |

| 施策の名称         | 実施事項   | 環境に対する効果   | 実施主体         | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名)            |
|---------------|--|--|--------------|---------------|----------------------------|
| 体験教育旅行の誘致     | 主として5月から6月までの修学旅行シーズンに、飯田市内外各所においてラフティングボート、乗馬、カヌー、万古溪谷沢渡りなどのアウトドア体験をはじめ、農林業体験、五平餅づくり、ジャム作り、そば打ち、水引細工、草木染め、環境学習、自然体験、ボランティアなど、飯田地域の自然や文化・人を教材とする体験プログラムを提供しています。   | 本物体験による感動を与えることが飯田市のPRとなります。<br>また、農業体験では、受入農家の生産意欲の向上につながります。                                       | 観光課          | 1,139,699     | 07-01-04<br>(エコツーリズム推進事業費) |
| 信濃路自然歩道の整備    | 下伊那郡松川高原から、阿智村園原まで78.9キロメートルの信濃路自然歩道伊那谷ルートは、南アルプスの山並みを望み、眼下に天竜川を一望する自然景観ルートです。歩道では貴重な植物も見られます。平成21年度は、歩道の草刈整備を行っています。  | 良好な景観の形成、自然環境保護につながります。  | 観光課          | 75,000        | 07-01-04<br>(観光事業費)        |
| 学校における農業教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上郷小学校「有機農法による米作り」</li> <li>・環境に優しいほ場づくり(全市の小学校)</li> <li>・モデル校での取組み(鼎小学校・上郷小学校)</li> </ul>   | 農業への親しみを味わい、農業の大切さを学ぶことで、環境保全の意識を育てることが出来ます。   | 農業課<br>教育委員会 |               |                            |
| 森の語りべ入門講座     | 地域内外の森林観察や森林開発、保全現場などの見学を通して森林の成り立ちや、森と生活との関係(かつては生活と密接な関係にあった森や木のこと)、現在の森の環境について学び、自然保護や環境保全についての関心を高めてもらうことを目的に開催。<br>5/9(土)王滝の埋没林、木曾の桜の観察等<br>6/13(土)伊那山脈を越える林道開設の現場見学、遠山郷の巨木観察等<br>7/11(土)阿南町の景観整備事業の現場見学、里山の観察等<br>8/29(土)治山・治水事業の現場見学等<br>9/12(土)里山整備事業の現場と南信州フルーツライン巡り<br>10/17(土)鳥獣被害の現状とその対策現場の見学<br>11/14(土)大型の木材加工工場の見学 | 様々な森の環境を観察し、また、実際に木が活用されている場も見学し、森林の有用性や現在の森林の現状を観察してもらう中から、あらためて自然保護や環境保全についての知識や関心を高めてもらうことができました。 | 生涯学習・スポーツ課   | 67,777        | 10-05-01<br>(社会教育一般経費)     |

(3) 飯田市のイメージづくり及び情報発信

| 施策の名称                | 実施事項  | 環境に対する効果                          | 実施主体                             | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名)                    |
|----------------------|---|-----------------------------------|----------------------------------|---------------|------------------------------------|
| 環境標語の掲載              | 各種納税通知書封入用封筒に環境標語を掲載し啓発しました。<br>「アイドリングストップで地球にやさしい思いやり」軽自動車税23,290件<br>「アイドリングストップで地球温暖化防止」固定資産税42,601件<br>「緑ある地球を未来につなげたい」市民税36,426件                    | 二酸化炭素削減のPR                        | 税務課                              | 1,253,000     | 02-02-02<br>(賦課費)                  |
| 水を大切に<br>する意識づ<br>くり | 年間を通じて水道メーター検針時に市民に配布する「使用数量等のお知らせ」用紙及びハガキと納入通知書を送付する封筒に『自然を守り、水は大切にしましょう。』の啓發文を掲載しました。   | 市民への意識啓発がねらいです。                   | 水道業務課<br>料金係                     | なし            |                                    |
| 見てみよう<br>環境施設        | 環境の日を記念とする飯田市内の環境施設の見学会を行い、水道施設、下水処理施設、ごみ焼却施設及び建設中の最終処分場の見学をし、担当からの説明を受けました。一般市民30人が参加しました。   | 市民の意識向上と啓発につながりました。               | 環境課<br>水道課給水係<br>下水道課<br>南信州広域連合 | なし            |                                    |
| 環境情報の<br>提供          | 環境モデル都市のホームページにより、積極的な環境情報の提供を心がけています。<br>また、モデル都市としての取組みをパネル化し、各種イベント等で展示しております。   | 市民に対し、情報を提供する手段として重要な位置付けとなっています。 | 地球温暖化対策課                         | 696,500       | 04-01-05<br>(環境モデル<br>都市推進事業<br>費) |
| 各種普及啓<br>発事業         | 行政機関と市民団体や事業者との協働により「生活と環境まつり2009」を10/24～25に開催しました。市民3,500人の参加者があり、展示・体験を通じて環境意識の推進ができました。<br>まつりの日から、飯田市における自転車無料貸出の制度がスタートし、レンタサイクルの利用登録証の登録の受付を開始しました。 | 市民の意識向上と、啓発に効果を高めました。             | 環境課<br>保健課<br>男女共同参画課            | 844,000       | 04-01-05<br>(環境教育推<br>進費)          |

| 施策の名称               | 実施事項   | 環境に対する効果   | 実施主体            | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名)               |
|---------------------|--|--|-----------------|---------------|-------------------------------|
| 環境モデル都市の地区説明会実施     | 飯田市は、平成21年1月22日に環境モデル都市に指定されたが、その取組みについて市民に理解していただくため、地区の定例会にあわせてモデル都市の説明会を実施しました。<br>20地区24回開催（平成21年12月末時点）   | 環境モデル都市は行政だけの取組みではなく、市民の理解も得ながら進めていく事業が多いです。各地区の代表に説明をすることにより、環境行政への理解促進となります。 | 地球温暖化対策課        | なし            |                               |
| 環境首都コンテストへの参加       | 飯田市は、平成21年度持続可能な地域社会をつくる環境首都コンテスト第9回（環境首都コンテスト全国ネットワーク主催）に応募し、総合で全国58自治体中第2位（前年度67自治体中第3位）、人口規模別（10万人以上30万人未満）で20自治体中第1位（前年度23自治体中第1位）となりました。  | 飯田市が、客観的どのような評価を得ているかを確認し、今後の取組みに生かすことができます。                                   | 環境課<br>地球温暖化対策課 | なし            |                               |
| 先進自治体との連帯           | 環境自治体会議は、環境に対し深い関心を持ち、積極的な環境政策の推進を目標とする自治体のネットワークです。市も平成10年度に加入しました。環境自治体会議ニュースや、全国大会など参加しながら、参加自治体との情報交換を行っています。平成20年度は、5/28～30に山形県遊佐町において全国大会が開催され、飯田市も参加しました。   | 環境問題に積極的に取り組んでいる自治体と情報交換をすることで、市の環境政策をより良いものにしていくことができます。                      | 環境課<br>地球温暖化対策課 | 105,000       | 04-01-05<br>(地域環境計画<br>推進事業費) |
| *自転車<br>飯田を発信<br>事業 | ツアーオブジャパン及び全日本実業団サイクルロードレースにより飯田を全国に発信するとともに、地域内の人々が、国際レースが当地域で行われることを誇りに思い、環境や健康に良い自転車に興味を持ち乗る人を増やします。<br>○ツアーオブジャパン南信州ステージの開催 5/20<br>○全日本実業団サイクルロードレースin飯田の開催 9/27<br>○自転車のまち推進会議の開催 2回<br>○レンタサイクル運用箇所 1ヶ所 | 自転車に興味を持ち、通勤、買物、あるいは旅行などに自転車を使用する人が少しでも増加すれば、二酸化炭素排出削減につながります。                 | 観光課             | 9,585,679     | 07-01-04<br>(観光事業<br>費)       |

| 施策の名称            | 実施事項  | 環境に対する効果  | 実施主体     | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名) |
|------------------|---|---|----------|---------------|-----------------|
| 日本ゴルフツアー機構との交流事業 | <p>○6/6～7にかけて、宍戸ヒルズCCUBSパビリオンにおいて、木工教室の開催と間伐材を利用した木工製品等の販売を実施しました。</p> <p>○12/18～19にかけて、野底山財産区有林「ゴルフの森」で、ゴルフツアー機構との交流を含めて、枝打ち作業、森林散策を実施しました。</p> <p>○2/22に、上郷小学校4年2組34名を対象とし、プロゴルファー小田龍一さんから、スナッグゴルフのプレゼントがあり実技講習し、講演会も実施しました。</p> <p>※(社)日本ゴルフツアー機構と飯田市野底山財産区は、同市上郷黒田地積の財産区有林において、森林の里親促進事業契約を平成20年10月に締結し、「ゴルフの森」と名付け、間伐等の作業費を支援してもらっています。「ゴルフの森」とは、野底山の森林保全活動に対して、主に寄付を通じて貢献する事業の名称です。</p> | <p>○参加者が楽しみながら、森林に対する理解を深めることができ、結果、地球温暖化防止に対する意識の向上に繋がります。</p> <p>○飯田市の環境活動等PRの場となります。</p> | 上郷野底山財産区 | 222,742       |                 |

#### (4) 市民参加の推進

| 施策の名称       | 実施事項   | 環境に対する効果                       | 実施主体       | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名) |
|-------------|--|--------------------------------|------------|---------------|-----------------|
| 地区内公園の美化活動  | 治水対策事業により整備された公園及び新設のR151バイパスの除草作業、ごみ拾いを行いました。   | 地域環境の美化に効果があります。               | 川路まちづくり委員会 |               | まちづくり委員会会計      |
| 環境ネットワークの活動 | 環境保全活動などを実施している市民団体によるネットワーク「環境ネットワークいいだ」が平成12年に組織されています。適宜「ネットワーク通信」による情報提供や、活動の案内などを実施しています。 | 情報の共有化による環境教育・環境学習の推進に寄与しています。 | 環境課        | なし            |                 |

| 施策の名称               | 実施事項   | 環境に対する効果  | 実施主体                      | H21決算額<br>(円) | 款・項・目<br>(細々目名)           |
|---------------------|--|---|---------------------------|---------------|---------------------------|
| 環境アドバイザーの活動         | 飯田市では、環境に関する専門的な知識又は技術を持っている人を環境アドバイザーとして登録し、市民の要望に応じて研修会、学習会及び観察会の場へ派遣をしています。<br>環境アドバイザーは、平成20年度～平成21年度の2年任期で10人が登録されています。上記の活動の他にも10月に行われた「生活と環境まつり2009」にも参加し、環境学習などの活動を行いました。  | 「21「いいだ環境プラン」の推進のための意識づくりに、行政と市民の間のパイプ役として、重要な役割を果たしています。 | 環境課                       | 230,000       | 04-01-05<br>(環境教育推進費)     |
| 環境調査員による調査活動        | 地域の身近な環境の様子を調査し、環境行政の施策の参考とすることを目的として、平成6年度から環境チェッカー制度による環境調査を実施しています。環境チェッカーは次のような活動を行っています。<br>○「指標動植物調査」 身近な自然環境が保たれているか、その指標となる動植物を季節ごと報告してもらっています。<br>○松川の上流及び中流2箇所「水生生物観察会」を7/26に実施し、水生生物による水質の判定を行いました。<br>○終了式では、2年間の活動のまとめを行いました。 | 調査活動を実施することにより地域環境への関心が高まると共に、調査結果は貴重な環境資料として広く活用できます。    | 環境課                       | 425,000       | 04-01-05<br>(環境教育推進費)     |
| グリーンコンシューマー活動への支援   | 環境問題を買物する立場・行動から考え、ごみ削減をはじめ地球温暖化防止等の活動や、3Rを推進するグリーンコンシューマー活動を行う団体です。今年度は昨年度に引き続きレジ袋削減の取組みに関して積極的に行政に働きかけを行い、南信州レジ袋削減推進協議会の発足に関わり、協議会設立、飯伊地域を挙げてのレジ袋削減の取組み開始に大きな貢献をしました。  | 「ごみ削減や、CO2削減に対する意識向上につながる動きとなりました。                        | グリーンクラブい～だ                | なし            |                           |
| 地域ぐるみ環境ISO研究会の機関紙発行 | 研究会機関誌「ぐるみ通信」第295号から306号(12号)発行、研究会や地域の取り組み、環境に関わる社会の動きなどを発信しています。研究会参加事業所、南信州いいむす21登録事業所、地区内外約1200人に提供しました。   | 環境改善の意識づくりにつながりました。                                       | 地域ぐるみ環境ISO研究会<br>地球温暖化対策課 | なし            |                           |
| アンケート調査の実施          | 市民の、居住地域の生活環境に関する満足度、環境に対する意識やニーズを把握するため、環境に関する住民アンケートを実施しました。<br>「資料編 第4章 1 住民アンケート集計表」参照   | 市民の環境に対する意識の高さ及びニーズを把握することで、より効果的な施策展開ができます。              | 地球温暖化対策課                  | 56,235        | 04-01-05<br>(地域環境計画推進事業費) |